

数学

大阪市立大学 [理学部] (後期)

<全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)
難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

例年通り,数学Ⅲの比重が大きく,不等式の証明が目につく.

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

4以外は工学部と共通

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	微分法	数学Ⅲ	2次関数,無理関数の微分法	標準
2	微分法	数学Ⅲ	定積分で表された関数の逆関数	標準
3	空間ベクトル	数学B	四面体の内接球	標準
4	複素数平面	数学Ⅲ	ド・モアブルの定理,互いに素	やや難
5	2次関数	数学I	判別式を利用した不等式の証明	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で,当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

標準からやや難しめの問題で練習を積み,頻出の解法を身につけること。
解答の筋道を立てることを意識しながら練習し,確かな計算力も養っておきたい。